

まち運営会議（第 150 回）議事録（概要）

令和 6 年 11 月 28 日 18:30 ～ 20:10

自由が丘エヌケービル 3F 会議室

議長 卯月盛夫

議題 報告事項

1. 踏切解消連絡会の下北沢視察の報告 目黒区都市基盤整備課
2. 武蔵小山駅周辺地区の駐輪場と自転車対応に関する
予備的視察の報告 まち構造研究会
3. その他

資料

1. 下北沢周辺視察ルートと関連施設等
2. 武蔵小山駅周辺の駐輪場の設置状況

*上記資料は、まち運営会議のホームページにこの議事録概要と併載します。

- 代表 自 1-29 で建設中の建物は、先日地下 3 階のコンクリートが打たれ、地下の構造体ができつつある。これが済むと地上部は一気に立ち上がる。今日は他の地区でどういう動きをしているかの報告があり、それらを参考にして自由が丘もまちづくりを進めたい。
- 議長 第 150 回自由が丘のまち運営会議を始めます。

1. 踏切解消連絡会の下北沢視察の報告

- 係長 地下化した小田急線上部の下北沢周辺を 11/8 に視察したので報告する。その前に連絡会について若干の説明をしたい。この東急大井町線・東横線踏切解消連絡会は、いまは目黒区側の地元の会であるが、目黒区はオブザーバーとして参加している。準備会設立は令和 5 年 9 月、連絡会設立は令和 6 年 4 月である。その構成員は地元商店会、町会・自治会・住区住民会議などから 30 人位である。会の目的は自由が丘駅周辺の踏切解消により通行の円滑化、鉄道による地域分断の解消による市街地の一体化の確保、日常生活の安全性や質の向上を図るなどのまちづくりを目指している。（スライド 3 枚の提示。自由が丘 1 号踏切の人と車の輻輳、補助 46 号線（すずかけ通り）の東横線ガード（桁下 2.2m）による緊急車両の通行の制限、学園通りのバスなど車両渋滞の発生）

都は踏切対策基本方針を平成 16 年（2004）に発表した。そこには鉄道立体化の検討（可能性の検討）対象区間が都内で 20 か所あり、その 1 として自由が丘駅周辺（緑が丘～等々力駅付近、都立大学～田園調布駅付近で、セットになっている）がエントリーされている。

第 1 回の連絡会は設立とオブザーバーの選定をし、第 2 回の 8 月は目黒区が連続立体交差事業についての説明、東急電鉄が他地区（京王線調布駅付近、小田急線下北沢駅付近、東急目黒線の

目黒駅付近)の事例を紹介した。8月30日に、連絡会の岡田会長と世田谷区の大井町線まちづくり協議会の吉村会長が都庁に出向き、都知事と都議会自民党あてに連立の早期事業化に関する要望書を提出した。第3回が下北沢視察で、ここは鉄道の地下化と高架化に伴うまちづくりが行われたので選ばれた。

配布資料に視察ルートと関連施設等を示した。世田谷代田駅周辺から東北沢駅周辺まで約2kmを歩き、途中で世田谷区北沢総合支所で休憩した。資料の図の諸施設のマークのうち緑色は世田谷区が整備したもの、黄色は民間が整備したものである。(※画像を見ながら諸施設等の紹介、さらに線路上部利用のまちづくりの取組、エリアの整備コンセプトや地域の方々との検討経緯の簡単な紹介もあった。)

- 議長 ありがとうございます。改めて魅力的なまちづくりが行われたことがわかった。
- 小田急線の線路用地幅は約20m、東急線の幅は約10mであると前回林さんから説明があった。そこに目黒区が通路をつくり、東急電鉄が施設を設けるとなると、下北沢のようにはいかないと思われるが、現時点で目黒区は何らかの構想をもっているのか。
- 係長 区としては令和5年に自由が丘駅周辺地区都市基盤整備構想を策定し、道路と鉄道の立体化や都市計画道路整備の必要性を整理した。自由が丘においてはまだ事業化が決まっておらず地下化、高架化は決まっていない。
- 代表 事業化の候補としてJR系が10、私鉄系が10ある。「地元が必要性を感じ、盛り上がっている、多数の地元団体と住民が求めている」ということが大事だ。初めは署名をするとよいと聞いている。
- 議長 地元で賛否両論がありゴタゴタしてはいけい。準備しておくことが大事だ。
- 係長 他地区の話だが、行政による連続立体交差事業の地元説明の段階で、地元から「待ちました」と拍手が起こる地区もあったと聞いている。
- 議長 下北沢も多くの住民や関係者が歓迎し、どのように整備するか話し合った。自由が丘は利用できる幅員は狭いが、自由が丘らしい工夫をして良いまちづくりを実現したい。
- 2009年と2022年の写真を比べると、電線が無くなり空が開けている。景観を大事にしている自由が丘も参考になると思った。下北沢の場合は、このような整備ができるまでにどの位の期間を要したのか。
- 係長 調査から完成までの年数は手元に資料がないのでわからないが、グーグルマップを見ると2012年には工事の囲いができている。他地区を参考にすると調査を行ったり、国の事業認可を受けたりする必要があるため、工事が始まるまでも相当の年数がかかる。
- マイナスの話が出ていない。下北沢の場合は乗り換えが不便になったかもしれない。鉄道の立体化では、神保町駅のような地下化同士、渋谷駅のような地下化と高架化がある。どちらを採用するか十分な検討があるだろう。都に結果を伝えることを前提に地元でアンケートをとることも地元の盛り上がりにつながると思う。
- 係長 鉄道立体化にはデメリットもある。例えば高架化では日陰の問題が発生することがある。その緩和策として線路の横に道路(側道)をつくるのが一般的である。また、工事のヤードのために沿線の用地買収が必要になることもある。また、乗り換え等利用時の移動距離が一般的

に長くなる。大井町線の駅が地上部にあるときより上がったたり下がったりするので不便になるという声を聞いている。どのような形の立体化にするかは、施工性や経済性などから事業主体が決めるのが大きな流れである。

●議長 詳しく説明いただいております。等々力辺りでは一部の方が「地下化反対」と言っていると聞いている。地下水の問題ですが、いろんなことを考えないといけないと思う。

●今の駅前広場は暫定的なもので、将来的にどのようにすればよいかを卯月先生も石川さんも、まちの人たちも考えをもっている。適当な段階でまちに情報を出してもらい、意見を交わして理解を深め、良いものをつくるのに協力したい。

●係長 下北沢でも鉄道の立体化が決まった後で、まちの人たちと鉄道会社や世田谷区がワークショップをして良いものをつくらうと努力したと聞いている。

●今は地元の盛り上がりは欠けていると感じる。駅周辺の商業者は立体化にイエスでも、来街者や住民が例えば開かずの踏切をどう感じているか、区も連絡会もつかめていないのではないか。

●係長 区は正確な情報を出して、まちの人たちに理解を深めてもらいたい。また住民等へのアンケートについても必要になるかもしれない。そのために踏切解消連絡会でも検討することになると思う。

●議長 まち運営会議のような場にも、逐次情報を出して進めていただきたい。ありがとうございました。次の議題に入ります。

2. 武蔵小山駅周辺地区の駐輪場と自転車対応に関する予備的視察の報告

●世話役 まち構造研究会は自由が丘の自転車利用に関しても取り組んでいる。以前のまち運営会議で良い取組が武蔵小山で行われていると発言があった。今週月曜日に現地視察をしたので報告する。（*以下、スライドでまちの変遷について説明あり。・1956年に東洋一のアーケード設置/1985年改修 ・1995-2010年 目黒線立体化、駅広/ 駅ビル/ 緑道の整備 ・2004年- しゃれ街第1号で街区再編まちづくり/ 最高60mの共同建替 ・2011年- 景観ルールの変更でタワーマンション型（最高145m）再開発に転換 ・現在進行中 再開発ビル3本/ パルム商店街アーケードを含んだ計画）

・駐輪場に関しては、鉄道の立体化と再開発に絡めての整備と、商店街が取り組んでいるケースがある。（*駅周辺の駐輪場の配置図と各収容台数等の詳細は資料参照）

・武蔵小山駅周辺の放置自転車の都調査（令和5年11月の平日11時）では、乗り入れ台数（一般駐輪施設実利用+放置）1363台、収容能力1806台、放置台数161台。区指導員5名を毎日配置し、年間撤去 約2500台。

・買い物時の調査はないが、世田谷区の調査では放置自転車の台数は11時の約2倍である。

・アーケード通り（約800m）の押しチャリ（7-24時）はよく守られている。

・押しチャリはアーケードのように区域がはっきりしていれば誘導、受け入れしやすいだろう。

・鉄道跡地に駐輪場を駅の両側に配置した。幅員が約10mなので自転車は2列に駐輪している。

・駅に近い空地を使った民間の時間利用の駐車場の利用率は高い。

・ビルの地下駐輪場は利用率が低い。料金に大きく差をつけている。

- ・定期利用と当日利用の配分は工夫が要る。通勤通学も毎日ではない人にとっては当日利用の料金が有利な場合もある。
- ・店頭駐輪はスーパーなどのガラス店頭なら利用できるが、オープンな間口の連なる軒先では駐車スペースをとりにくい。建物の後退のあり方と合わせて検討がいる。
- ・スーパーやドラッグストアなど自転車利用の多い店とそうでない店での事情を考慮したい。
- ・自由が丘駅周辺の放置自転車の都調査（令和5年10月平日晴れ11時）では、乗入台数699、収容能力883、放置台数86であった。
- ・駐輪場が十分にあって、ある数の放置は生じる。利用しない人は利用しない。

●議長 ありがとうございます。武蔵小山は頑張っていますね。

●武蔵小山はマナーがよい。アーケードの押しチャリが守られているのはすごい。やさしいまちづくりができています。どうしてこういうことが実現したか知りたい。緑が丘の交番では歩行者信号が緑のとき、自転車に乗ったまま渡る人に笛を吹いて注意する警官がいる。状況はよくなっている。自由が丘では運転手がいて路上停車している自動車が多い。道路が狭いので路上停車も歩行者には危険なので減らす取組が必要だと思う。

●世話役 今回は現状を見に行ったので、どのようにしてこうなったかを商店街の人に聞くことも考えている。

●2004年ごろ高校生でアーケードを利用したが、自転車が来て危ないと感じたことはなかった。事故があったとも聞いていない。それ以前から押しチャリが徹底していたようだ。自由が丘では歩いていて、後ろからベルを鳴らしながら突っ込んでくる自転車がある。自由が丘では以前も行ったが、場所や期間を決めて、押しチャリのキャンペーンの実施を続けたらよいと思う。

●議長 「自由が丘はアーケードはないが、ルールが徹底しているのはなぜだろう」と思われるようにしたい。ありがとうございます。

3. その他

●代表 商店街からの情報提供である。クリスマス関連の点灯式を12/1（日）16:30ごろ駅前広場で行う。その前の時間には子羊幼稚園の子どもたちのコーラスなどもある。デュアオーネの広場でも、広小路商店会と合同で点灯式等をする。今年は面的にクリスマスのイベントがあるので楽しんでいただきたい。

●来年の11月に耳の不自由な方の世界大会がある。デフリンピックと呼ばれ、100年前からあるが日本では初めてである。駒沢公園の陸上競技場も会場になる。ただ残念なのは、会場へのアクセスを示すポスターなどに自由が丘が記されていない。帰りにはバスで自由が丘に来てもらい飲食もしてもらいたい。目黒区や自由が丘はデフリンピックについて広報するとともに、体の不自由な方へ温かさのある良いまちであることを世界の人に実感してもらえるように準備したい。体にハンディをもつ方にやさしいまちは、健常者にもやさしいまちであると思っている。

●議長 これで第150回の自由が丘まち運営会議を終了します。ありがとうございます。次回は12月はなくて、1/23を予定しています。